

資料2

地方創生関連交付金 活用事業一覧

事業名	交付金の型	事業 開始年度	事業 実施期間	事業 最終年度	KPI 目標年度	検証会議で の検証期間	令和4年度検 証の有無	担当課	備考
阿蘇・竹田ブランド観光地域づくり推進事業	推進交付金	R1	3年	R3	R5	R4会議まで		商工観光課	
“日本最強の城”『岡城』10万人プロジェクト	推進交付金	R1	3年	R3	R5	R4会議まで		商工観光課	
地域資源(温泉・自然環境など)を組み合わせた健康療養地利活用推進事業	推進交付金	R1	3年	R3	R5	R4会議まで		商工観光課	
祖母山麓エリア再生プロジェクト	推進交付金	R3	3年	R7	R7	R8会議まで		商工観光課	
新しい働き方・暮らし方を通じた関係人口創出・企業誘致事業	推進交付金	R3	3年	R5	R5	R6会議まで		商工観光課	
竹田市サテライトオフィス整備・テレワーク推進事業	地方創生テレワーク交付金	R3	1年	R3	R6	R4会議まで		総合政策課	

地方創生交付金関係個別実績表

【広域】地方創生推進交付金(H31・R2・R3)

No.	1	事業名	阿蘇・竹田ブランド観光地域づくり推進事業				所管課	商工観光課
事業実施期間		着手	平成 31 年 4 月	～	終了	令和 4 年 3 月		
事業の概要(目的)								
<p>県境に広がる熊本県阿蘇市と大分県竹田市において、地形及び歴史的に共通の特性を活かし、公共交通機関を利用した観光連携の仕組みづくりを構築しながら、九州中央におけるデスティネーションの位置を確立する。 特に平成28年の熊本地震によって被災したJR豊肥本線の復旧後を見据えて、官民協働により、同線の利用促進及び地域間交流による地域活性化に寄与することを目的とする。</p>								
継続または新規事業の別		交付金充当期間は終了		R3年度実績額(単位:円)		12,923,900円		
本事業における重要業績評価指標(KPI)		目標値						
		事業開始前 (基準年:H30年度)	平成31年度増加分 (1年目)	平成32年度増加分 (2年目)	平成33年度増加分 (3年目)	平成34年度増加分 (4年目)	平成35年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
KPI	外国人宿泊客数	194,886	5,000	10,000	20,000	10,000	10,000	55,000
KPI	外国人対応可能施設数	10	10	10	10	10	10	50
KPI	外国人向け滞在プログラム数	0	0	4	4	4	4	16
KPI	国内宿泊客数(R3追加)	666,086	-2,612	-279,474	116,000	150,000	150,000	133,914
本事業における重要業績評価指標(KPI)		実績値						
KPI	外国人宿泊客数		-27,334	-151,452	-15,977			-194,763
KPI	外国人対応可能施設数		15	10	5			30
KPI	外国人向け滞在プログラム数		0	15	2			17
KPI	国内宿泊客数(R3追加)		-2,612	-326,704	25,094			-304,222
R3年度事業実績の概要 (交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)								
<p>1. ネットワークの構築・推進 1,980,000円(竹田市負担額990,000円) ・阿蘇竹田ブランド観光デジタルマーケティング業務委託 1,980,000円</p> <p>2. 新たな滞在プログラムの開発 1,000,000円(竹田市負担額500,000円) ・JR九州連携による旅行商品開発業務委託 1,000,000円</p> <p>3. 地域公共交通の利用促進 5,868,720円(竹田市負担額3,870,152円) ・久住周遊バス実証運行業務委託 1,517,000円 ・阿蘇ウォーキングバイシクル導入実証業務委託 1,998,568円 ・竹田グリーンスローモビリティ導入実証業務委託 2,353,152円</p> <p>4. 国内外旅行者の受け入れ態勢の整備 6,732,000円(竹田市負担額3,366,000円) ・阿蘇竹田ブランド観光ガイドブック作成業務委託 4,752,000円 ・地域通訳案内士育成等業務委託 1,980,000円</p> <p>5. 広域連携による誘客対策 9,047,390円(竹田市負担額4,197,748円) ・JR九州連携キャンペーンポスター作成業務委託 522,390円 ・インスタグラマーを起用した観光情報発信業務委託 1,430,000円 ・JR熊本駅前広場PRイベント開催業務委託 2,145,000円 ・トリップアドバイザーを活用した観光DX推進業務委託 2,200,000円 ・Kyushu Weekender Vol.4を活用した情報発信業務委託 2,750,000円</p>								
その他								
実績値を踏まえた事業の今後について(所管課意見)								
地方創生への効果		地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる)						
今後の事業展開方針		事業の終了(当初の予定通り事業を終了する(または終了した))						
上記の理由や特記事項		<p>KPI 外国人宿泊客数については、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値に達していない。 KPI 外国人対応可能施設数においては、順調に事業が推進され目標を達成している。 KPI 外国人向け滞在プログラム数においては、順調に事業が推進され目標を達成している。 KPI 国内宿泊客数については、R3に追加した項目であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により国内においても移動制限が出されるなど外的要因により目標値に達していない。</p> <p>引き続き、阿蘇竹田ブランド観光地域づくり推進協議会を中心とし、目標達成のため事業展開を行う。</p>						

地方創生交付金関係個別実績表

地方創生推進交付金 (H31・R2・R3)

No.	2	事業名	“日本最強の城”『岡城』10万人プロジェクト			所管課	商工観光課	
事業実施期間		着手	令和 1 年 8 月	～	終了	令和 4 年 3 月		
事業の概要(目的)								
<p>ピーク時には年間13万人を数えた竹田市最大の観光施設の一つである国指定史跡「岡城跡」の来場者数は、熊本・大分地震の影響もあり、現在は半分以下の6万人程度となってしまっており、竹田市全体の観光入込客数、及び、観光消費額の減少にも大きく影響している。</p> <p>そんな中、あらゆるお城の魅力に迫り、芸能界きっての城好きによって“最強の城”が選ばれる番組「あなたも絶対行きたくなる！日本“最強の城”スペシャル」(NHK / 5月3日放送)において、見事に「岡城」が“日本最強の城”に選定された。</p> <p>選定理由には、国内最大規模の“石垣の魅力”が挙げられているが、現在、その“石垣の魅力”をより浮き彫りにすべく、雑木の伐採作業が進められている。これと並行し、「岡城」が本来持つ魅力を深掘りし、きちんとガイドスできる環境整備に取り組み、それを発信していくことで年間来場者数10万人突破を目指す。また、城下町はじめ、市内各地域・各スポットへの周遊を促進し、市全体として観光振興・経済浮揚を図る。</p>								
継続または新規事業の別		交付金充当期間は終了		R3年度実績額(単位:円)		1,498,200円		
本事業における重要業績評価指標(KPI)								
目標値								
		事業開始前 (基準年: H31年度)	平成31年度増加分 (1年目)	平成32年度増加分 (2年目)	平成33年度増加分 (3年目)	平成34年度増加分 (4年目)	平成35年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
KPI	岡城 年間来場者数	60,000	6,000	15,000	25,000			46,000
KPI	岡城 入場券&城下町協賛店 共通クーポン券利用者数	0	6,600	1,200	2,400			10,200
KPI	岡城 公式サイトアクセス数	65,613	5,000	12,000	12,000			29,000
KPI								
本事業における重要業績評価指標(KPI)								
実績値								
KPI	岡城 年間来場者数		16,356	-29,259	-5,549			-18,452
KPI	岡城 入場券&城下町協賛店 共通クーポン券利用者数		42	0	0			42
KPI	岡城 公式サイトアクセス数		10,379	70,028	66,183			146,590
KPI								
R3年度事業実績の概要 (交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)								
<p>1) 「岡城」の魅力の戦略的なプロモーション・集客 「岡城」公式サイトの運営・改善(委託料) 498,300円 「岡城」の魅力を伝える広告掲載(委託料) 999,900円</p> <p>2) 城下町の各施設、事業者と連携した周遊促進コンテンツの開発 中止 (コロナウイルスの感染拡大により、本市においても感染者が発生するといった状況の中、全体的な観光入込客数は前年の半分にまで落ち込んだ。市内のあらゆる行事やイベントも中止になり、全国のお城ファンをターゲットとする岡城への集客・プロモーションについて、積極的な取り組みが困難な状況であった。)</p>								
実績値を踏まえた事業の今後について(所管課意見)								
地方創生への効果		地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる)						
今後の事業展開方針		事業の終了(当初の予定通り事業を終了する(または終了した))						
上記の理由や特記事項		<p>事業期間のほとんどがコロナ禍中ということもあり、思うように事業実施ができない部分が多くあった。そんな中ではあるが、情報発信は継続して行っており、最終的に公式サイトの閲覧数は目標値を遥かに越え、岡城跡が持つポテンシャルが見えた結果であると感じる。これは、公式サイトへの流入増加を目的として、Instagramにて公式SNSの管理運用を始めたことも閲覧数の増加に大きな効果があったと考える。また、公式SNSでの情報発信においては、これまで岡城跡のファン層としてアプローチしてこなかった若年層にも情報を届けるべく、掲載する写真等を工夫した。フォロワー数やいいねの平均値なども上昇傾向にあり、今後はさらに、いわゆる「映える」写真が撮れるスポットとして、若年層への認知度を高めていきたい。</p> <p>来城者については、コロナ前には及ばないものの、全体として回復傾向にある。また、春および秋の行楽シーズンにおいては、特に来城者が回復しつつある。大分県を代表する観光スポットになるよう引き続き公式HPでの情報発信は継続しつつ、SNSを中心とした情報発信により若年層の取り込みを図ることで事業の目標であった来城者10万人の達成に向けて取り組んでいきたい。</p>						

地方創生交付金関係個別実績表

地方創生推進交付金 (H31・R2・R3)

No.	3	事業名	地域資源(温泉・自然環境など)を組み合わせた健康療養地利活用推進事業				所管課	商工観光課
事業実施期間		着手	令和 1 年 8 月	~	終了	令和 4 年 3 月		
事業の概要(目的)								
・健康寿命の延伸と医療費の削減のための健康増進プログラム提供の人材確保・法人化 健康増進プログラムの開発・提供を実施し、所得の安定化、人材のスキルアップを図る ・企業向け及び個人向け福利厚生・健康増進プログラムの開発・販促・情報発信 社会保障給付費の削減、B&G体育館などの施設利用者の増、観光客数の増 ・健康増進プログラムを活用した市民の健康寿命延伸と介護予防、運動習慣の定着化 社会保障給付費の削減、B&G体育館などの施設利用者の増、介護認定を受けていない高齢者の増								
継続または新規事業の別		交付金充当期間は終了		R3年度実績額(単位:円)		14,560,964円		
本事業における重要業績評価指標(KPI)		目 標 値						
		事業開始前 (基準年: H31年度)	平成31年度増加分 (1年目)	平成32年度増加分 (2年目)	平成33年度増加分 (3年目)	平成34年度増加分 (4年目)	平成35年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
KPI	B&G体育館における年間利用者数(人)	12,000	5,000	5,500	5,500			16,000
KPI	健康増進プログラム開発数(件)	1	3	4	4			11
KPI	健康増進プログラム利用数(件)	0	5	20	20			45
KPI								
本事業における重要業績評価指標(KPI)		実 績 値						
KPI	B&G体育館における年間利用者数(人)		6,000	-4,500	-4,155			-2,655
KPI	健康増進プログラム開発数(件)		3	2	6			11
KPI	健康増進プログラム利用数(件)		7	4	24			35
KPI								
R3年度事業実績の概要 (交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)								
温泉利用型健康増進施設(連携型)の新たな事業展開 小計 9,464,400円 全国初の試みとなる温泉利用型健康増進施設(トライアングル型連携)による予防医療・健康増進の推進 (御前湯 B & G体育館 クアハウス) 有資格者派遣システムの構築 有資格者の確保(健康増進施設運営等業務) 5,398,800円 B&G体育館の利活用促進事業(B&Gトレーニング管理業務) 4,065,600円 ヘルスツーリズム認証健康増進プログラム商品の開発・販促展開 小計 2,799,940円 「2018年度より始まった」ヘルスツーリズム認証」制度に基づく健康増進プログラム商品の開発と販促 ・健康経営・健保組合・健康志向な個人等への販促のためのプロモーション 2,799,940円 市民健康増進・予防活動の事業展開 小計 2,296,624円 湯中運動、健康運動教室などの運動習慣定着のための健康増進事業の実施 クアハウスを活用した湯中運動教室 1,227,644円 体育館等を活用した健康増進・予防教室 869,000円 自然環境を活用したウォーキングイベントの開催 199,980円								
実績値を踏まえた事業の今後について(所管課意見)								
地方創生への効果		地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる)						
今後の事業展開方針		事業の終了(当初の予定通り事業を終了する(または終了した))						
上記の理由や特記事項		KPI B&G体育館における年間利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域住民の利用にも影響が生じ目標値に達していない。 KPI 健康増進プログラム開発数数については、順調に事業が推進され目標を達成している。 KPI 健康増進プログラム利用数については、新型コロナウイルス感染症の影響により国内における移動制限が出されるなど外的要因により目標値に達していない。 コロナ渦における事業実施となり大変厳しい状況であったが、引き続き状況を注視しながら目標達成のため事業展開を行う。						

地方創生交付金関係個別実績表

地方創生推進交付金 (R3・R4・R5・R6・R7)

No.	4	事業名	祖母山麓エリア再生プロジェクト			所管課	商工観光課	
事業実施期間		着手	令和 3 年 4 月	～	終了	令和 7 年 3 月		
事業の概要(目的)								
<p>地域の背景、および地方版総合戦略を踏まえ、世界的にその希少価値を認められた祖母山麓エリアにおいて、明確なターゲット設定などのエリアマネジメント戦略に基づき、地域資源を活用したアクティビティやワーケーション、山村留学などのコンテンツを開発し、域内住民の地域活動や生業に新たな価値を創出することにより、関係人口の創出・拡大を進め、持続可能な地域づくりのビジネスモデルを構築したい。</p> <p>これにより、祖母山麓エリア内において、本市の総合戦略に掲げた「地域の強みを生かし、域外の力や新たな技術を追い風にし、誇り高く持続可能な社会を築き上げていくこと」を目指す。</p>								
継続または新規事業の別		新規		R3年度実績額(単位:円)		13,143,864円		
本事業における重要業績評価指標(KPI)		目標値						
		事業開始前 (基準年:R2年度)	令和3年度増加分 (1年目)	令和4年度増加分 (2年目)	令和5年度増加分 (3年目)	令和4年度増加分 (4年目)	令和5年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
KPI	「祖母山麓体験交流施設あ祖母学舎」の年間利用者数(人)	1,161	50	100	100	50	50	350
KPI	関係人口創出のためのイベント等への参加者数(人)	0	30	30	30	30	30	150
KPI	トレッキングガイド養成講座・市民ライター育成講座などの人材育成セミナーへの参加者数(人)	0	10	15	15	10	10	60
KPI	専用WEBサイトへのアクセス数(アクセス)	0	3,000	5,000	5,000	5,000	2,000	20,000
本事業における重要業績評価指標(KPI)		実績値						
KPI	「祖母山麓体験交流施設あ祖母学舎」の年間利用者数(人)		1,078					1,078
KPI	関係人口創出のためのイベント等への参加者数(人)		29					29
KPI	トレッキングガイド養成講座・市民ライター育成講座などの人材育成セミナーへの参加者数(人)		29					29
KPI	専用WEBサイトへのアクセス数(アクセス)		4,873					4,873
R3年度事業実績の概要 (交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)								
<p>【祖母山麓のエリアブランディング戦略の策定とネットワーク形成・推進】</p> <p>(1)祖母山麓エリアブランディング戦略の策定</p> <p>(2)官民連携の地域ネットワーク形成支援 ・祖母山麓エリアブランディング戦略策定業務委託 3,846,590円</p> <p>【情報を集約したプラットフォームの構築】</p> <p>(1)祖母山麓エリア専用WEBサイト等の制作</p> <p>(2)市民ライター、市民カメラマンなどの情報発信スキルをもつ人材の育成 ・情報プラットフォーム構築業務委託 4,597,274円</p> <p>【地域資源を活かした体験アクティビティ、ワーケーションプログラムなどのソフト開発】</p> <p>(1)祖母山麓エリアのファン(関係人口)づくり</p> <p>(2)トレッキングガイド等養成講座</p> <p>(3)家族向け滞在プログラム開発 ・関係人口創出及び人材育成業務委託 3,850,000円 ・体験プログラム等開発業務委託 840,400円</p> <p>【公共施設の新たな活用方法の検討と実施】</p> <p>(1)祖母山麓エリア公共施設マネジメント支援 2,987,600円</p>								
実績値を踏まえた事業の今後について(所管課意見)								
地方創生への効果		地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる)						
今後の事業展開方針		事業の継続(計画どおりに事業を継続する)						
上記の理由や特記事項		<p>プロジェクトの公式サイトが公開され、エリアごとの観光資源や地元の方に密着した特集記事なども揃いはじめ、情報の密度が上がってきたことにより順調にアクセス数が伸びてきている。</p> <p>アウトドアアクティビティのプログラム開発としてマウンテンバイクを使ったモニターツアーやイベントを試験的に実施したが、参加者からの意見を基に、今後の体験型コンテンツとして持続可能な形で事業運営ができるよう検討したい。併せて、従前より同地域の方が実施してきた祖母山トレッキングなども、有償ガイドとして活動できるようインタープリター養成講座を実施し、ガイドスキルの向上を図った。2年目となる今年は、2期生の募集をするともに、1期生の活動が始まるタイミングとして、引き続きサポートを実施していきたい。</p> <p>上記体験コンテンツなども、公式ホームページに掲載して情報発信することで、閲覧数の増加と体験参加者の増加を目指すことで、地域への来訪者や拠点施設となる緒環やあ祖母学舎の利用者の増加につなげていきたい。</p>						

地方創生交付金関係個別実績表

地方創生推進交付金 (R3・R4・R5)

No.	5	事業名	新しい働き方・暮らし方を通じた関係人口創出・企業誘致事業			所管課	商工観光課	
事業実施期間		着手	令和 3 年 4 月	～	終了	令和 5 年 3 月		
事業の概要(目的)								
<p>1)新しい働き方・暮らし方に沿った関係人口創出事業 ・地方への拠点移転やリモートワーク、ワーケーションを検討する企業や人材をターゲットに、本市への進出の相談やサポートを担う総合窓口を設置。各企業・人材へのアプローチやプロモーション、また、進出に際してのワークスペースの紹介や滞在施設の紹介、各種コンテンツ提供に取り組む。 ・地域事業者向けに、多様な働き方の仕組みづくりの啓発や導入に向けたコーディネートを実施。</p> <p>2)進出企業や人材とのマッチングによる労働力確保及びイノベーション創出 ・人材やノウハウ不足といった課題を抱える地域事業者を募集し、各案件を整理する。また、訪れる企業や人材が有するスキルやノウハウをリスト化し、両者のマッチングを通じ、労働力の確保及びイノベーション創出に取り組む。</p> <p>3)新しい働き方・暮らし方に沿った観光産業のシフトチェンジ ・本市の豊かな自然や温泉資源を活かし、“健康経営”や“スマートワーク”を掲げる企業向けに、社員の健康増進に係るプログラムを開発・提供。それに特化した人材育成にも取り組む。 ・リモートワークやワーケーションで訪れる企業や人材の生活消費を促進するための商品やサービスの開発・提供に取り組む。</p>								
継続または新規事業の別		新規		R3年度実績額(単位:円)		16,502,706円		
本事業における重要業績評価指標(KPI)		目標値						
		事業開始前 (基準年:R2年度)	令和3年度増加分 (1年目)	令和4年度増加分 (2年目)	令和5年度増加分 (3年目)	令和4年度増加分 (4年目)	令和5年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
KPI	リモートワークやワーケーションで訪れる人の数(人)	0	50	100	200	300	300	950
KPI	進出企業・団体等の数(件)	0	1	2	3	3	3	12
KPI	進出企業及び人材と地域事業者とのマッチングによるプロジェクト創出数(件)	0	1	2	3	5	5	16
KPI								0
本事業における重要業績評価指標(KPI)		実績値						
KPI	リモートワークやワーケーションで訪れる人の数(人)		237					237
KPI	進出企業・団体等の数(件)		3					3
KPI	進出企業及び人材と地域事業者とのマッチングによるプロジェクト創出数(件)		2					2
KPI								0
R3年度事業実績の概要 (交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)								
<p>[新しい働き方・暮らし方に沿った関係人口創出事業]</p> <p>(1)企業・人材受入プラットフォームの開発・整備 委託料 4,999,929円 竹田市への拠点移転やリモートワーク等を検討する企業・人材の総合窓口を設置し、仕事や滞在などの各種コンテンツの紹介や提供が可能なプラットフォーム「THE 3RD PLACE TAKETA」を整備。https://3rdtaketa.com/</p> <p>(2)地域事業者向け多様な仕事づくり支援 委託料 2,999,909円 多様な働き方の可能性調査として、地域内事業者へのアンケート(45社回答)およびヒアリング(30社)を実施し、課題整理を行った。また8割以上の事業者の課題が「人材不足」であったことから、人材獲得のためのセミナーを2回実施した。</p> <p>[進出企業や人材とのマッチングによるイノベーション・ソリューション創出]</p> <p>(1)進出企業・人材と地域事業者とのマッチング 委託料 2,503,259円 インターンシップ制度導入の実証実験「岡城天然温泉月のしずく」において2名の学生の受入れを実施 兼業・副業人材活用の実証実験「株式会社高山組」において社内DXを進めるための専門人材を1名受入</p> <p>[新しい働き方・暮らし方に沿った観光産業のシフトチェンジ]</p> <p>(1)企業向け健康増進プログラム及び滞在中の提供商品・サービス開発 委託料 2,999,700円 有望な利用者の掘り起こしのためのニーズ調査、企業向け健康増進プログラム3本開発、サービス紹介のためのWEBサイト構築</p> <p>(2)企業・人材向けプロモーション 委託料 2,999,909円 「THE 3RD PLACE TAKETA」へのサイト誘導のためのPVを制作(視聴回数22万回)</p>								
地方創生への効果		地方創生に非常に効果的であった(すべてのKPIが目標値を達成するなど大いに成果が得られた)						
今後の事業展開方針		事業の継続(計画どおりに事業を継続する)						
上記の理由や特記事項		<p>新型コロナウイルスの影響によるKPI未達成の懸念もあったが、設定した指標に基づいて達成することができた。</p> <p>次年度以降のプラットフォーム運用に関しては、テレワーカーや進出希望事業者の受け入れの準備をしっかり行い、ターゲットに対する情報発信を続け、効果的なアプローチ手法を再検討していく。</p> <p>アフターコロナのタイミングに向けて地方への企業進出の需要の高まりが期待されるため、これまで取り組んできた官民連携によるエリアブランディング向上の取組みを継続し、「稼げる地域づくり」を目指す必要があると考える。</p> <p>その中で、地域事業者の生産性向上に資するプロジェクトや進出企業・人材によるビジネス展開にあたっては、必要に応じてや商工団体等と連携し、サポートを実施していきたい。</p>						

地方創生交付金関係個別実績表

◆地方創生テレワーク交付金(R3)

No.	6	事業名	竹田市サテライトオフィス整備・テレワーク推進事業			所管課	総合政策課				
事業実施期間		着手	令和 3 年 4 月	～	終了	令和 4 年 3 月					
事業の概要(目的)											
<p>竹田市では首都圏をはじめ圏域外への若年層の流出により基幹産業である農業をはじめとする一次産業や中小企業での労働者の高齢化が進行し、過疎化や地域経済の減速が加速している。また、若年層の流出により、一次産業や中小企業の後継者・人手不足という課題も出てきている。さらに、高速道路網整備の遅れ、空港や港湾から遠距離に位置することなどが要因となり、過去5年間、製造業の企業進出がない。そこで、IT関連企業等のサテライトオフィスの誘致促進事業を開始する。</p> <p>本事業を通じ、域外の民間事業者の進出、地域課題とのマッチングを促進し、竹田市の地域課題である超高齢社会(高齢化率47%超)、大分県一の農業生産高を支える1次産業の後継者不足、担い手不足、豊富な温泉資源や久住高原、城下町をはじめとする観光資源の活用、地域コミュニティの再生など、新たな事業展開を生み出す場としていきたい。</p> <p>[課題] 若年層の人材流出の課題に関しては、年間約500人の人材が市外へ流出しておりその原因の1つに若年層にとって魅力のある企業が市内に少ないということが挙げられる。次に、竹田市の基幹産業である農業をはじめ一次産業や中小企業の後継者・人手不足については、今後ますます人口が減少するなか人材の確保だけでは産業を維持していくのは困難である。業務負担の改善等による生産性の向上が各業界で必要となっているが、工程管理や情報整備などを始めとする産業のICT化が遅れている。</p>											
継続または新規事業の別		新規			R3年度実績額(単位:円)		23,543,000円				
本事業における重要業績評価指標(KPI)											
KPI① サテライトオフィス等施設を利用する企業数(社・団体)				KPI② サテライトオフィス等施設を利用する企業における、所在都道府県外の企業数(社・団体)				KPI③ サテライトオフィス等施設の利用者数(人)			
		2024年度末	2021年度末			2024年度末	2021年度末				
内訳	竹田市城下町交流館「集」	6	2	内訳	竹田市城下町交流館「集」	3	2	内訳	竹田市城下町交流館「集」	960	6
	竹田市久住支所4階フロア	2	0		竹田市久住支所4階フロア	1	0		竹田市久住支所4階フロア	240	0
	竹田市直入支所図書スペース	2	0		竹田市直入支所図書スペース	1	0		竹田市直入支所図書スペース	240	0
	合計	10	2		合計	5	2		合計	1440	6
KPI④ サテライトオフィス等施設の利用者における、所在都道府県外の利用者数の割合(%)				KPI⑤ 移住者数(人)							
		2024年度末	2021年度末			2024年度末	2021年度末				
内訳	竹田市城下町交流館「集」	64%	100%	(KPI⑤参考) 令和2年12月1日時点の住民基本台帳人口(人)		20,903					
	竹田市久住支所4階フロア	30%	0								
	竹田市直入支所図書スペース	30%	0								
	合計	0.5267	1								
R3年度事業実績の概要 (※交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)											
<p>①-1サテライトオフィス整備事業(竹田市城下町交流館「集」) 小計10,081,000円</p> <p>○施設改修費 : (2階改修工事) 個室用の間仕切り工事、床・天井・壁、電気設備工事 7,331,000円</p> <p>○設計管理費 : (施設改修に伴う設計委託費、管理委託費) 1,760,000円</p> <p>○備品購入費 : (作業用机、椅子、など備品費、その他備品) 990,000円</p> <p>①-2テレワークスペース整備事業(竹田市久住支所4階フロア) 小計1,243,000円</p> <p>○施設改修費 : ケーブルテレビ引込み工事等 187,872円</p> <p>○備品購入費 : 作業用机、椅子など備品費等 1,055,128円</p> <p>①-3サテライトオフィス等整備事業(竹田市直入支所図書スペース) 小計1,441,000円</p> <p>○施設改修費 : ケーブルテレビ引込み工事等 221,642円</p> <p>○備品購入費 : 作業用机、椅子など備品費等 1,219,358円</p> <p>②プロジェクト推進(プロモーション、ビジネスマッチング等のプロジェクトの推進) 8,778,000円</p> <p>(1)①サテライトオフィス誘致研修(550千円) (1)②戦略策定ワークショップ(1,650千円) (1)③プレゼン資料作成(330千円)</p> <p>(1)④東京エリアでのマッチングイベント出展(1,100千円) (1)⑤東京エリアでの企業対応代行(440千円)</p> <p>(1)⑥視察対応マニュアル作成(550千円) (1)⑦1回の定例ミーティング実施(880千円) (1)⑧個別企業訪問(1,100千円)</p> <p>(2)①福岡・北九州エリアでの企業対応代行(832千円) (2)②福岡・北九州エリアからのマッチングツアーの実施(1,345千円)</p> <p>③進出支援事業 補助金 1,000,000円×2社 = 2,000,000円</p>											
地方創生への効果		②地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる)									
今後の事業展開方針		①事業の継続(計画どおりに事業を継続する)									
上記の理由や特記事項		<p>○施設整備について、資材等が高騰する中、設計から施工までを一体的に実施することでコストダウンが可能となった。</p> <p>○誘致推進について、株式会社あわえの参画により、誘致戦略の策定からプレゼン資料、視察対応マニュアルなどの作成、企業とのマッチング会への参加支援、本市の地域課題や強みを活かしたビジネス展開ができそうな企業を紹介してもらうなど、きめ細かな支援をいただいた。今後、サテライトオフィス誘致の自治体間競争が激化する中で、自治体の特徴や地域課題をしっかりと伝えることで、進出する企業の定着や地域活性化につながる効果は大きかった。</p>									